

# 令和3年度 保健体育科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷中学校

## 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

### (1) 成果

- ・運動の得意不得意に関わらず、主運動に意欲的に取り組むことができる生徒が増えた。
- ・学び合いや教え合う事を通して、コミュニケーションの大切さに気づかせることに繋がった。

### (2) 課題

- ・学習カードに記入して自己の改善をはかるだけでなく、グループ等で発表の時間を設け、考えを深めることができなかった。
- ・運動が苦手な生徒が知識を定着させられるよう授業を工夫することが課題である。

## (2) 授業の分析 (観点別)

### ① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
理想の動きを常に提示し、スモールステップで動きのイメージをしやすいよう工夫する必要がある。教科書等から得た知識を使い、健康や安全に関する知識を運動場面に当てはめて行動することができる生徒が少ないことが課題。	学習カードには自らの考えを書くことはできても、それを表現したり動きの中で瞬時に判断することに課題がある。	授業の流れやルールを覚え、準備体操も含めて意欲的に活動することができた。指示されて動くのではなく、自ら判断し主体的に授業に取り組むことが課題。

### ② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動技能の高い生徒はできばえを正しく評価することができるが、運動が苦手な生徒はより一層知識の定着を図る必要がある。スモールステップを意識した授業を行ってきたが、著しく技能が向上したとは言えないため引き続き取り組む必要がある。	自他の動きを分析し学習カードに記入することはできるが、人前での発表では上手く表現できない生徒が多く、こうした場面を定期的に準備する必要がある。	主運動には意欲的に取り組むことができるが、準備運動やその他の活動への取り組み方に課題のある生徒が多い。指示されて動くのではなく、自ら判断し主体的に授業に取り組むことが課題。

### ③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動のできばえを正しく評価できる知識の定着を図り、ソーシャルディスタンスをとりながら積極的なグループ活動での学習を通じて、自分の意見や仲間のアドバイスを基に技能を身に付ける。自己の課題発見や課題解決に向けて、習得の学習に力を入れる。	自己や仲間の技能について発表や意見交換の場面を活用して振り返りアドバイスをしたり、相手を意識した発表や自分の言葉で表現できるようにする。また、毎時間学習の振り返りを行い、動作や練習方法についての理解を深める。	準備運動の段階で、それぞれの体の動かし方を理解した上で学習ができるようにする。また、主運動への繋がりを理解することができるようにし、生徒が楽しく運動を行うことができるよう工夫する。視野を広く、周囲への声掛け等自ら主体的に授業に取り組むことが課題。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動のできばえを正しく評価できる知識の定着を図り、自分の意見や仲間のアドバイスを基に技能を高めるグループ活動やペア学習を積極的に取り入れる。自己の課題発見や課題解決に向けて、習得の学習に力を入れる。スモールステップでの課題を設定し、できる喜びを味わう。	自己や仲間の技能について発表や意見交換の場面を活用して振り返りアドバイスをしたり、自分の意見や相手を意識した発表や自分の言葉で表現できるようにする。ICT 機器を使用し、効果的に活動をすすめる。	学習カードを活用し、より関心を高め、個やチームの課題を把握できるようにする。また、ペアやグループでの学習を通して生徒同士での教えあい、学び合いの学習ができるようにする。生徒が主体的に自ら行動することができるよう指示の仕方に気を付ける。

#### (2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保健や体育理論だけでなく、運動場面においても、安全な場作り・仲間や自分の健康管理について考える機会を多く取り入れる。自己の課題発見や課題解決に向けて、習得の学習に力を入れる。自分の意見や仲間のアドバイスを基に技能を高める練習を取り入れていく。また、小集団での学習を通して、技能を身につける。	自己や仲間の技能について発表や意見交換の場面を活用して振り返りアドバイスをしたり、自分の意見や相手を意識した発表や自分の言葉で表現できるようにする。ICT 機器を使用し、効果的に活動をすすめる。	引き続き生徒の興味関心を引く授業展開を意識するとともに、生徒が主体的に自ら行動することができるよう指示の仕方に気を付ける。

#### (3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動のできばえを正しく評価できる知識の定着を図り、自分の意見や仲間のアドバイスを基に技能を高めるグループ活動を積極的に取り入れる。自己の課題発見や課題解決に向けて、習得の学習に力を入れる。また、小集団での学習を通して、技能を身につける。	自己や仲間の技能について発表や意見交換の場面を活用して振り返り、アドバイスをすることで相手を意識した発表や自分の言葉で表現できるようにする。また、毎時間学習の振り返りを行い、動作や練習方法についての理解を深める。ICT 機器を使用し、効果的に活動をすすめる。	準備運動の段階で、それぞれの体の動かし方を理解した上で学習ができるようにする。また、主運動への繋がりを理解することができるようにし、生徒が楽しみながら運動を行うことができるよう工夫する。生徒が主体的に自ら行動し、協力して授業に取り組むことができるよう指示の仕方に気を付ける。